



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 東洋シャッター株式会社  
 コード番号 5936 URL <http://www.toyo-shutter.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 敏夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画統括部長 (氏名) 丸山 明雄  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 06-4705-2125

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,169	11.3	254	—	157	—	124	—
23年3月期第3四半期	10,931	△4.6	△122	—	△162	—	△950	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 124百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △949百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	19.55	17.19
23年3月期第3四半期	△184.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,380	4,994	32.5
23年3月期	14,540	4,870	33.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,994百万円 23年3月期 4,870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	3.2	440	—	310	—	230	—	43.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	6,387,123 株	23年3月期	6,387,123 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	35,527 株	23年3月期	35,212 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	6,351,762 株	23年3月期3Q	5,152,710 株
※ 期末発行済株式数(優先株式)	24年3月期3Q	2,000,000株	23年3月期	2,000,000株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第1回優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	— 円	0.00 円	— 円	0.00 円	0.00 円
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				7.55	7.55

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) その他の注記事項 .....	8
4. 補足情報 .....	8
連結製品別売上明細 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響のなか、円高の長期化、株価の低迷、欧州財政危機などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当シヤッター業界におきましても、建設需要は依然、低水準のなか、受注競争の激化が引き続いており、いまだ極めて厳しい状況であります。

このような厳しい状況下、当第3四半期連結累計期間においては、地道な営業活動の推進、メンテサービ部門の拡充に努めてまいりました。その結果、売上高は前年同四半期比11.3%増の12,169百万円となりました。

また、利益面におきましては、生産効率の改善、低採算物件の原価管理の徹底を推し進め、管理面においてのコスト削減効果もあり、営業利益は254百万円（前年同四半期比376百万円増）、経常利益は157百万円（前年同四半期比319百万円増）となり、四半期純利益では、124百万円（前年同四半期比1,074百万円増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて840百万円増加し15,380百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べて1,083百万円増加の7,478百万円となり、固定資産は前連結会計年度末に比べて243百万円減少の7,902百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて1,018百万円増加の9,852百万円となり、固定負債は前連結会計年度末に比べて302百万円減少の533百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べて123百万円増加の4,994百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の通期業績見通しにつきましては、平成23年5月13日付「平成23年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて発表しました内容から変更はありません。

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値はさまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

### (会社の経営に重要な影響を及ぼす事象)

当社グループは、前連結会計年度において当期純損失を計上いたしました。その結果、金融機関との金銭消費貸借契約の財務制限条項に抵触する事実が発生し、当社グループが将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事情又は状況その他提出会社の経営に重要な影響を及ぼす事象(重要事象等)が存在しております。

しかしながら、財務制限条項に抵触する事実につきましては、取引金融機関に今後の見通しについて説明及び協議を行い、その結果、期限の利益喪失の権利行使を行わない旨の同意を得ております。よって、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと考えております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	874	1,256
受取手形及び売掛金	3,280	3,363
商品及び製品	0	0
仕掛品	968	1,527
原材料及び貯蔵品	573	632
繰延税金資産	69	56
その他	683	693
貸倒引当金	△54	△51
流動資産合計	6,395	7,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,054	2,928
土地	4,143	4,143
その他(純額)	518	445
有形固定資産合計	7,715	7,517
無形固定資産	100	89
投資その他の資産		
投資有価証券	25	25
関係会社株式	—	36
その他	341	280
貸倒引当金	△37	△47
投資その他の資産合計	329	294
固定資産合計	8,145	7,902
資産合計	14,540	15,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,593	4,435
短期借入金	4,050	3,989
1年内返済予定の長期借入金	321	357
リース債務	69	62
未払金	278	390
未払法人税等	69	43
賞与引当金	39	23
工事損失引当金	113	94
その他	298	455
流動負債合計	8,834	9,852
固定負債		
長期借入金	549	287
リース債務	148	132
長期未払金	19	16
繰延税金負債	79	60
退職給付引当金	38	36
固定負債合計	835	533
負債合計	9,669	10,386
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,024	2,024
資本剰余金	186	186
利益剰余金	2,694	2,819
自己株式	△37	△37
株主資本合計	4,867	4,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
その他の包括利益累計額合計	3	3
純資産合計	4,870	4,994
負債純資産合計	14,540	15,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,931	12,169
売上原価	8,379	9,394
売上総利益	2,552	2,774
販売費及び一般管理費	2,674	2,520
営業利益又は営業損失(△)	△122	254
営業外収益		
保険配当金	22	14
受取補償金	15	2
助成金収入	14	2
その他	16	10
営業外収益合計	68	28
営業外費用		
支払利息	59	69
シンジケートローン手数料	24	29
その他	24	26
営業外費用合計	109	125
経常利益又は経常損失(△)	△162	157
特別利益		
固定資産売却益	15	—
賞与引当金戻入額	53	—
その他	6	—
特別利益合計	76	—
特別損失		
課徴金	680	—
特別退職金	41	—
損害賠償金	17	—
貸倒損失	1	—
特別損失合計	742	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△828	157
法人税、住民税及び事業税	44	40
法人税等調整額	77	△7
法人税等合計	121	32
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△950	124
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△950	124



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△950	124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△0
その他の包括利益合計	1	△0
四半期包括利益	△949	124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△949	124
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△828	157
減価償却費	285	271
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4	△1
前払年金費用の増減額(△は増加)	42	50
賞与引当金の増減額(△は減少)	△136	△15
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△44	△18
土地売却損益(△は益)	△15	—
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	59	69
持分法による投資損益(△は益)	—	3
固定資産除却損	3	5
売上債権の増減額(△は増加)	961	△93
たな卸資産の増減額(△は増加)	△563	△617
仕入債務の増減額(△は減少)	1,099	842
前受金の増減額(△は減少)	193	163
前払費用の増減額(△は増加)	△7	△15
その他	△635	114
小計	430	921
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△59	△68
法人税等の支払額	△57	△66
営業活動によるキャッシュ・フロー	314	788
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
固定資産の取得による支出	△89	△91
固定資産の売却による収入	20	—
関係会社株式の取得による支出	—	△40
貸付けによる支出	△8	△5
貸付金の回収による収入	13	8
その他	4	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60	△119
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400	△60
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△399	△226
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	300	△287
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	554	381
現金及び現金同等物の期首残高	651	874
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,206	1,256

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
- (6) その他の注記事項  
(四半期連結貸借対照表関係)  
受取手形割引高は、704百万円であります。

## 4. 補足情報

## 連結製品別売上明細

品名	期別 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
軽量シャッター	1,845	16.9	1,848	15.2	0.2
重量シャッター	6,057	55.4	6,651	54.6	9.8
シャッター関連	846	7.7	946	7.8	11.8
シャッター計	8,749	80.0	9,446	77.6	8.0
スチールドア	1,699	15.6	2,232	18.4	31.3
建 材 他	482	4.4	490	4.0	1.8
合 計	10,931	100.0	12,169	100.0	11.3